

「布あそび工房」開催

天真庵

2月1日(日)天真庵に吉田登志先生を招いて、午前・午後の2回「布あそび工房」が開催されました。吉田先生は小さいころから物を作ることが好きで抱き人形を作り始めてから33年。昨年5月からはいわき市平で教室を開かれています。

天真庵には数日前から先生の作品の抱き人形、吊るし雛など愛らしい作品の数々が展示されており、いつもの天真庵がアートギャラリーに大変身。作品を見ながら少しでも先生の作品のように…と、参加

された皆さんはひと針ひと針丁寧にすすめ、先生にアドバイスを頂きながら熱心に作品づくりに取り組まれておりました。作品づくりを終えた後は、ちょっと一服。かわいらしい作品と、天真庵の食事で心もおなかも満たされ大満足。有意義な一日となりました。



大倉保育園児との交流 やしおみ荘

2月26日(木)午前10時から体育館にて、毎年恒例の大倉保育園の園児の皆さんと交流会が実施されました。

今回参加してくれた園児は、年中さんと年長さん合わせて58名。鉄腕アトムやミッキーマウスの歌に合わせ



せたかわいい踊りや、メロディオンを使ったとても上手な演奏などを披露してくれました。

やしおみ荘の利用者も手拍子を打ったり、体を動かしたりしながら、園児たちの演技を笑顔で楽しんでいました。

最後には園児たちから利用者へ、お花や心のこもった大きな手作りの絵や貼り絵のプレゼントが手渡され、利用者から園児たちには、おやつのパンのお土産が手渡されました。

帰りには、「また来てね。」「また来るよ。」の挨拶を交わしてお別れしました。

大倉保育園の皆さん、ありがとうございました。来年も是非いらして下さいね。

施設改修工事 やしおみ荘

やしおみ荘も築30年を間近に控え昨年末、浴室、医務室の改修並びに、屋根の塗装工事を行いました。医務室は安全面、使い勝手を考慮した作りとなり、利用者の健康管理を行う場として、よりよい環境となりました。浴室は段差を無くし、手すりを多く設置し、高齢化に対応した作りとなりました。何より、優しい色使いの壁には富士山が描かれちょっとした温泉気分が味わえます。いつもの入浴が、ほっと癒される時間となっているようで「富士山はここで、雲はここだね。」「きもちよかった。あったまったよ。」と話される姿を見かけることが多くなりました。湯につかりながら利用者同士の会話も弾み、つつい長湯になってしまう方も…毎日過ごす空間がよりよく改修されたことで、利用者・職員とも気持ちも新たに新鮮な気持ちで利用しております。



やしおみ荘に車イスを寄贈

やしおみ荘

1月23日(金)第一生命労働組合福島支部より車イスを1台寄贈していただきました。

福島支部では地域の社会福祉に貢献する目的で平成16年から年2回、県内5ブロック(福島、いわき、県南、郡山、会津)の職員から夏・冬の賞与時に募金を集め、その浄財をもとに県内各施設などにこれまで60台の車イスを寄贈されています。

贈呈式はやしおみ荘で行われ「働いている人の善意です。有効に活用してもらえれば」との言葉とともに送られました。荘では利用者も高齢化しているため、歩行力が弱まっている方が増えつつあります。歩行が困難な利用者のために大切にに使わせていただきたいと思います。この場をお借りして感謝の気持ちを申し上げます。

キワニスドール贈呈式

ちゃーむ

2月20日、民間の国際奉仕団体・福島キワニスクラブ様より、キワニスドールを贈呈していただきました。

キワニスドールとは、会員さん一人一人が作った木綿生地にはポリエステル綿を詰めた真っ白な人形です。小児科病棟では、内臓を描いたドールの部位を指差して患者の子ども達から病状を聞いたり、治療の説明をしたりして恐怖心を取り除きつつ、診察や治療をスムーズに進めるのに利用されているそうです。

ちゃーむの子ども達は、キワニスドールに好きな色で顔や洋服を描き、個性的でかわいらしい人形に変身させていました。今後、ちゃーむでも、コミュニケーションの一環として活用させていただきたいと思います。

この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。

